

## 平成29年度 第13回政策推進会議報告

日時 11月28日 15時00分～17時00分  
場所 4-1会議室  
出席者 22人

### 1 次期尼崎市議会定例会市長提出予定案件について

企画財政局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 追送案件については、総務省から条例の手続きを進めても良いとの通知がきているようだが、国会審議の進捗状況を確認しながら進めてもらいたい。

自動車駐車場の付置義務の緩和については、前々から確認しているが、緩和については条例の上程から施行まで短期間の方が良いという理由で、12月議会への上程になったと聞いている。一方、自転車駐輪場対策の進捗状況については、どうか。

対策を進めている。

(市長) スケジュール的なものは、あるか。

平成30年度には、取組を進めていく予定である。

### 2 平成30年1月1日付け組織改正について

総務局長から資料に基づき報告。

### 3 第3次地域いきいき健康プランあまがさき(素案)に対する市民意見公募手続の実施について

医務監から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 思春期から妊娠期までの取組も含まれると思うが、こどもの育ち支援センターと重複する箇所があり、整理が必要である。平成30年度向けの政策査定においても、議論を行っているところである。体制の整理も必要であり、限られた人員で効果的に事業を行っていくことが重要であるため、引き続き協議していきたい。

### 4 尼崎市健康増進計画(尼崎市国民健康保険特定健康診査等第3期実施計画・保健事業実施計画(データヘルス計画)第2期)(素案)に対する市民意見公募手続の実施について

ひと咲きまち咲き担当局長から資料に基づき報告(以下、質疑等)

(市長) いきいき健康プランとデータヘルス計画は、重複する計画か。

いきいき健康プランの中に、データヘルス計画を組み入れてもらっている。内容については、要約しているが、目標値等についても包含されている。

(市長) 医療費の抑制効果ごとに、保険者へのインセンティブをより重視する仕組みになる記事が出ていたが。

尼崎市の努力者支援制度は好評をえているところである。全国の保健者との相对比较となるため、今後も取組を進めていきたいと考えている。

## **5 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)に対する市民意見公募手続の実施について**

健康福祉局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) ヘルスアップ推進会議において、富士通総研にも参画してもらおう中で、介護予防の取組についてもP D C Aの仕組みづくりを進めているが、当該計画はさらに広範囲となるのか。ヘルスアップ推進会議で進めている内容は、予防の取組がメインであり、今回の計画は、サービス対応も含め、広範囲の計画である。

(市長) 当該計画のP D C Aの取組は、どのように進めていくのか。

データヘルス計画のような、明確な指標はなく、部会でも議論となったポイントである。

「未来へつなぐ」プロジェクトの中でも、その点については課題認識しており、データ化に繋がる取組については、次年度予算編成に向け政策要求を進めているところである。

(市長) 介護予防の最終的なアウトカムは、新たな認定者の伸びが全国平均より低くなることや介護費用の抑制等である。

当該計画には、生きがいづくりも入っており、地域福祉の取組も含め施策評価で振り返った際には、隔靴搔痒の感がある。様々な施策が計画に上がっているが、一定の見直しが必要であると考えている。

本市では様々な施策に取り組んでいるが、各施策のP D C Aと施策評価を一致させていかなければならない。今後、次の施策評価までに個別計画のP D C Aと施策評価の連動について整理していきたい。

## **6 尼崎市空家等対策計画(素案)に対する市民意見公募手続の実施について**

都市整備局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 協議会の中で、課題への対応策について具体的な指摘はあったのか。

委員長より対応策が網羅されていないとのご指摘があり、今回、実態をしっかりと把握し、具体的な対応策を増やしていくべきであるとのご意見をいただいた。

・概要版のページ2、「計画の進行管理」欄の評価指標「空家講座の参加人数」の基準値が平成29年度は0人となっているが、この要因は何か。

空家講座の集客は、非常に難しい。今年度、開催に向け募集を行ったが集まらなかった。対象者の絞り込みやP R手法に課題があると考えており、効果的な手法を検討していきたい。

## **7 「第2次尼崎市配偶者等からの暴力(DV)対策基本計画(素案)」及び市民意見公募手続の実施について(男女共同参画推進本部会議を兼ねる。)**

ダイバーシティ推進課長から資料に基づき報告（以下、質疑等）

（市長）資料の「4 現計画の主な成果と課題」欄について、配偶者暴力相談支援センターの機能整備が最大の成果で、引き続き取り組むべき課題があるとの記載があるが、少なくとも「配偶者等からの暴力（DV）対策基本計画施策体系」の左表、「現計画の施策の方向」欄の「重点」と記載がある項目については、しっかりとPDCAを意識した取組を進めていかなければならない。また、その内容を施策評価にも反映していくべきである。

協議方法については、男女共同参画推進本部会議において、重点化と記載がある項目について、局毎に取組内容を確認し、施策評価に反映していく流れで整理していきたい。

次年度の施策評価の実施に当たっては、各項目の実施状況について関係局の確認を行うことが重要であり、本部会議を活用していくべきである。

来年度、早々に男女共同参画推進本部会議を開催したいと考えている。

（市長）新計画がスタートするのが、平成30年度なので新たなスタートに当たり、必ず現計画のPDCAの整理を行ってほしい。

## **8 その他**

議会事務局長から、「議場コンサート」について説明。

ひと咲きまち咲き担当局長から、「尼崎城オリジナル年賀はがき限定販売」について説明。

健康福祉局長から、「尼崎市保健福祉業務の窓口再編に関するお知らせ」について説明。

以上